



SEPG Japan 2005 プレゼンテーション資料

IT in all Based on IT

「品質向上に向けての奮戦記」

～ 組織全体の意識向上への取組み～

2005年10月13日

株式会社 インテック

ネットワークソリューション事業本部

ネットワークシステム第一部

岡部 敏明

- 1 はじめに
- 2 現場の思いは？
- 3 全体の意識向上
- 4 改善へのアプローチ
- 5 改善の実施
- 6 改善効果
- 7 今後の課題
- 8 その他の改善への取組み

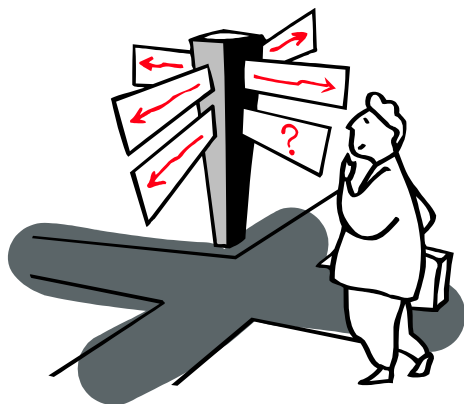
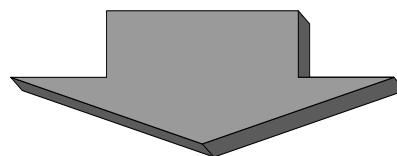
当部の紹介

EC/EDI技術およびWeb開発技術と当社のネットワークサービスを組み合わせ、お客さまのニーズに最適なソリューションを提供しています。例えばWebEDIシステムの構築および保守、iFDSサービス等の提供等、更に今まで培ってきた業務知識を活かしたSIとしてのコンサルティングと、幅広く対応しています。



- ・ システムコンサルティングおよび提案
- ・ お客様向けシステム開発の実施
- ・ iFDSサービスシステムの企画・開発
- ・ システムの導入または移行作業
- ・ システムの保守およびメンテナンス

失敗プロジェクトの発生



プロジェクトマネージメントの不足
要員スキル不足
プロジェクト体制の欠如
業務知識の不足
お客様のスキル
..... etc

2 現場の思いは？

リーダー会議



問題点を
部員共通の認識
にすべきた！



プロジェクト反省会
の実施(部員全員)

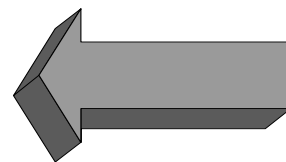
成功プロジェクト
VS
失敗プロジェクト

見積を
見直そう！



管理 期間

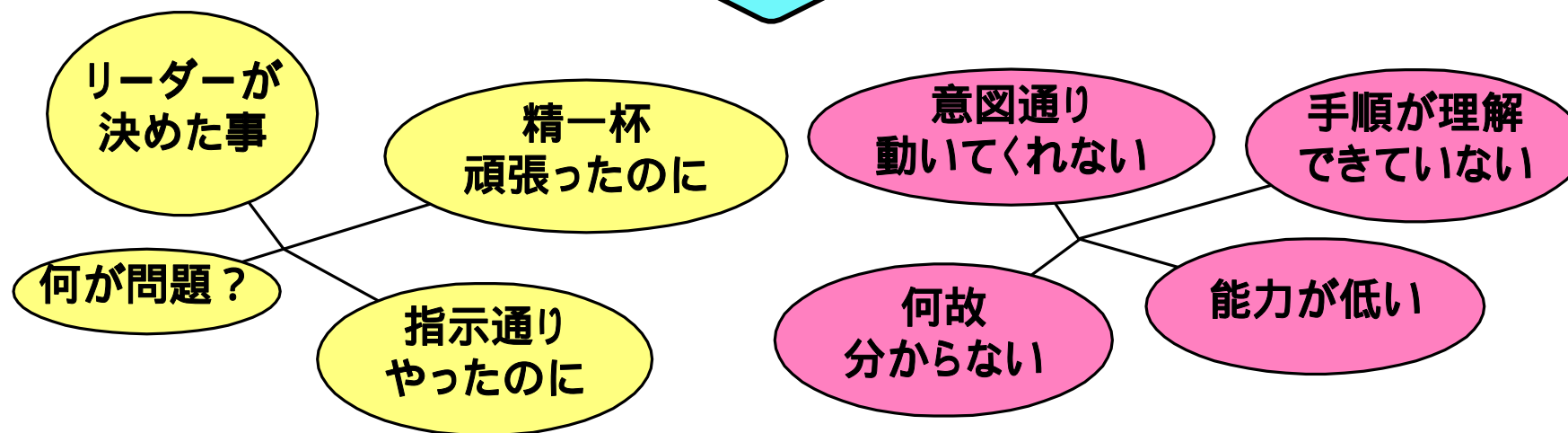
リスク 予算



両者の違いは何？
失敗の原因は何？
(年代別グループ検討)

グループ発表
(現場の思いは！)

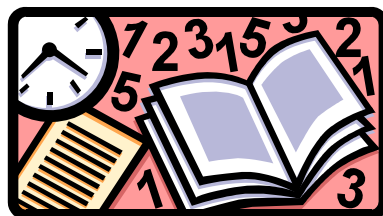
何故、
全体意識の向上か



他人事、責任の分散、被害者意識の芽生え

チーム意識の低下や士気の低下

「見積」に対する知識の取得



全部員に対し1ヶ月間で「見積」に関する文献の調査とレポートの提出を命令

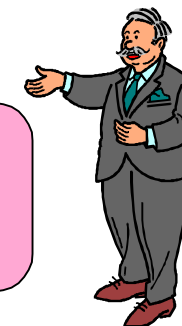


若手社員の
知識UP



部長・課長によるレポートのチェックと、所感の作成

管理者の
思いは



全部員へのレポートの回覧

他の人達は
どう考えているの

グループによる「見積手順」の検討

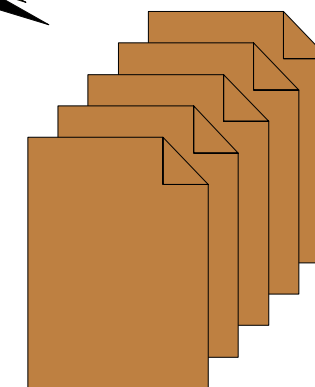
競争

自分
たちで

期間: 1ヶ月

テーマ:

- ・見積手法
- ・見積手順



見積手順

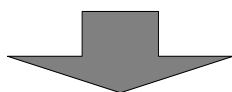
3つのグループを作成
グループ構成は縦割りとする
3回以上のミーティングを実施

合宿での「標準見積手順」の採択

グループ発表



再検討



グループ発表



標準の採択

各グループでまとめた見積手順
(手法、チェックシート、手順等)を発表

質疑応答内容や他グループの
発表を参考に、再検討の実施

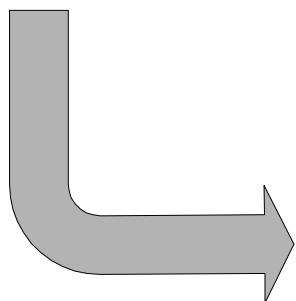
各グループの
発表を参考に、部内標準
を採択する



「標準見積手順」の作成

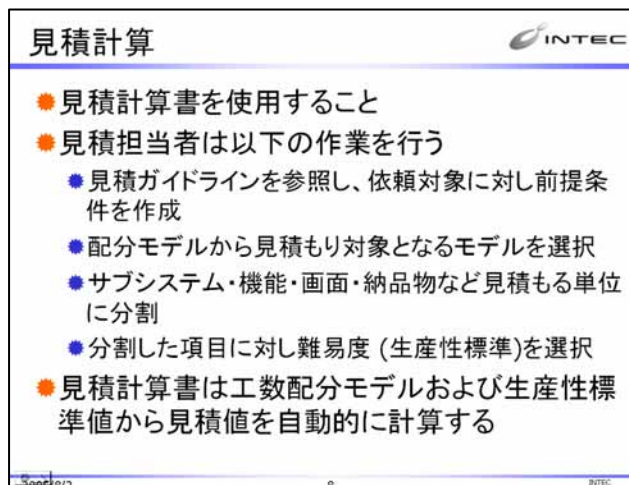
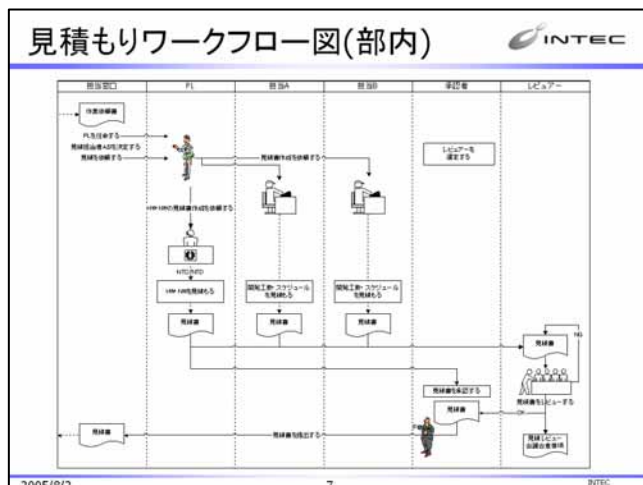
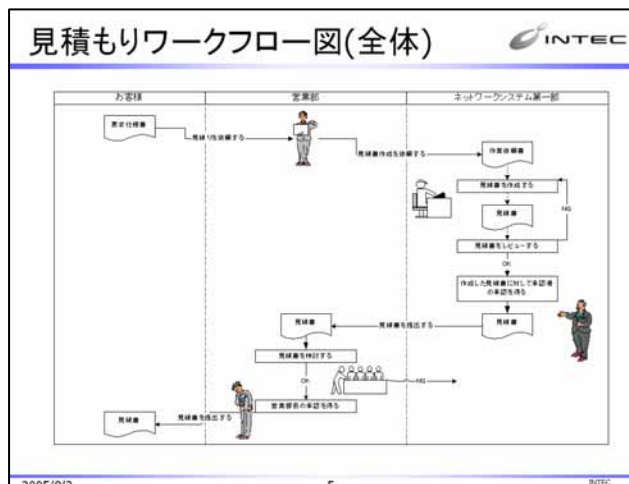


期間: 2週間
代表グループによる、標準見積手順
のまとめ



標準見積手順
の発表

「標準見積手順」の事例



「標準見積手順」の事例

見積書

・基本情報

顧客名	顧客orASP名を入力
システム名	システム名を入力
見積り日	2004年10月8日
見積担当者	担当者名を入力
配分モデル	既存修正
リスト(0-50%)	0

・システム規模見積り

項目	工数 (人日)	工数 (人月)
基本設計	5	0.25
詳細設計	5	0.25
単体開発	14	0.7
結合テスト	7	0.35
システムテスト	3	0.15
移行	3	0.15
管理	4	0.2
非開発作業	10	0.5
合計	51	2.55

・機能毎工数明細

No.	画面 バッチ	機能	機能詳細	新規 修正	難易度	単体 開発 工数 (人日)	機能 工数 (人日)
1	画面	メニュー機能	ログイン	新規	A	1	2.7027
2	画面	メニュー機能	お知らせ	新規	A	1	2.7027
3	画面	会員登録	新規登録	新規	A	1	2.7027
4	画面	会員登録	更新	新規	A	1	2.7027
5	画面	会員登録	削除	新規	C	10	27.027
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
						合計(人日)	14 37.838
						合計(人月)	0.7 1.8919

・非開発作業 基本のタスクに含まれない工数について記述する。

No.	タスク名	詳細	工数 (人日)	引け含む 工数 (人日)
1	全国事業所 導入作業	30台 x 10事業所	10	10
2				
3				
4				
5				
			合計(人日)	10 10
			合計(人月)	0.5 0.5

見積ガイドライン

顧客名			
システム名			
大項目	中項目	ガイドライン	見積担当者記入 (例)
仕様確定度	RFPはあるか		
	RFPの内容レベルは、概要か詳細か。	概要の場合、要件確定後に再見積りすることを、見積書の前提条件に書き加える。	
	ヒアリングは実施したか		
	顧客予算はいくらか		
機能一覧	画面数		
	プログラム数		
	ダウンロードはあるか		
	アップロードはあるか		
システム構成	印刷はあるか		
	印刷で使用するツールは	PDFであれば、IOWEBDOCで見積もりを行う	
	バッチプログラム数		
	ハードウェア		
納品物	新規導入か既存のものを使用するか		
	ユーザーからの指定はあるか	なければSUNで見積もりを行う	
	ソフトウェア		
	新規導入か既存のものを使用するか		
	ユーザーからの指定か	なければORACELで見積もりを行う	
	データベースは何を使用するか		
	Webサーバーは何を使用するか		
	APサーバーは何を使用するか		
	バックアップと仕組みは		
	PATROLは使用するか		
	AUTOSYSは使用するか		
	ネットワーク		
新規導入か既存のものを使用するか	ドメイン取得のための費用を追加する		
セキュリティ			
認証方法	SSL取得のための費用を追加する		
開発体制	設計書		
	操作説明書		
開発体制	使用者は誰か	内容のレベルが異なるので、エンドユーザーの場合は工数を追加する	
	他にあるか		
	指定の開発メンバーはいるか。		
	職種(S.E. P.G.)の人数は、 専任か、兼務でも大丈夫か。 ITシステム部の作業範囲はどこまでか。 機器見積り取りまとめはどの部署が行っているか		

「標準見積手順」の事例

手順書など



- ★ 見積手順書(本書)
- ★ 見積ガイドライン
- ★ 見積計算書
 - ★ 工数配分モデル
 - ★ 生産性標準値
- ★ 見積レビュー会議合意事項
- ★ 見積FAQ

5 改善の実施



- ・ 2004年10月より実施
- ・ 新規開発を対象
- ・ 現在までに11件の実施
(その他一部利用有り)
- ・ 完了は3件のみ
(逸注も存在)
- ・ 全社への紹介も！

見積担当者: 12人
延べ担当者: 17人
(対象者: 30人)

平均見積日数: 5日間
(内レビューで1日)

最低入社年数: 3年目

見積最小規模: 2人月
見積最大規模: 30人月

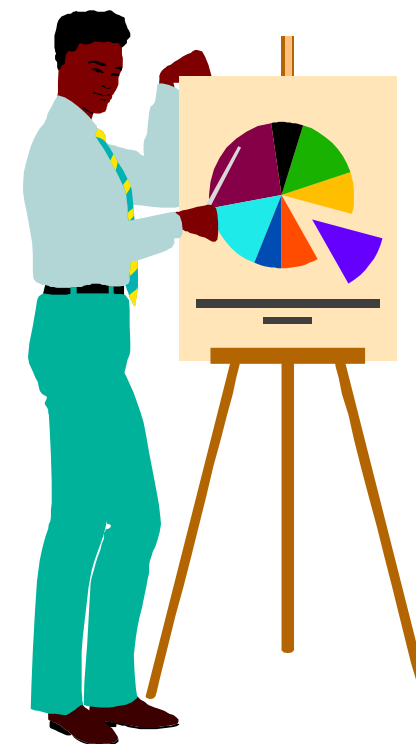


定性効果

- ・ 部員全員の中にコスト意識が芽生えてきた
- ・ 作業項目の漏れやリスクの漏れが大幅に減少した
- ・ 担当者により見積のバラつきが無くなった
- ・ 見積初心者でもそれなりの見積ができるようになった
- ・ 作業担当者も工数に対し納得して作業が実施できる
- ・ 開発プロジェクトの士気の向上が図れた

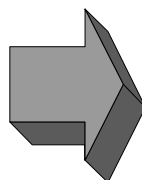
定量効果

導入満足度	満足	: 87%
精度向上	向上	: 83%
わかりやすさ	良好	: 93%
リスクの減少	減少	: 90%
士気向上	向上	: 77%
取組評価	評価	: 100%
その他意見	営業連携強化 経験の不足	



部内アンケート結果

- ・ 新見積を実施したプロジェクトで、受注から開発完了に至ったものが少ない為、妥当性の評価が未実施である。



- 一部評価を実施し、以下の見直しを実施中
- ・ 新規と既存案件での工数配分比率
 - ・ ランク別の開発工数単位の細分化

- ・ 新しい見積手順のPDCAを回して行く仕組みの整備

業務スキルの向上を目指して！

- ➡ ・お客様業務勉強会の実施(1回/月)
- ・お客様訪問回数のカウント(若手の同行)

失敗を繰り返さない為に！

- ➡ ・障害事例発表会の実施(1回/半期)



例) 部内障害実績評価報告
Web障害事例調査報告
二次障害事例報告

全社「見積精度向上委員会」への参加



ご清聴、ありがとうございました。